<様式1> 管理運営状況評価書 【対象年度:令和元年度】

4社会体育施設

は選択入力項目 は自動計算のため入力不要

I 施設概要·利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名 掛川市南体育館			南体育館(し~すぼ	ਛ)		担当課名	文化・スポーツ振興調	記入者職氏名	主任	戸塚 昭吾
区分				内容	• 説明					
	(1)設置条例名		掛川市スポーツ旅	記 設条例						
	(2)施設設置目的		スポーツの振興を	一図るとともに、市民の健原	東及び体力を増進させるため)				
	(3)施設が有する設備、 概要	幾能の	アリーナ(1,383㎡)、体力測定室(武道場)((303㎡) 、トレーニングルー <i>上</i>	、(114㎡)、観覧	ラスペース(456㎡ 観	覧席178席 身障	i者用42	スペース)
	(4)施設建設年度		平成25年度							
1	(5)耐震性能の有無		有							
施 設			非常電源設備の蓄電池(バッテリー)2個交換(R6年頃、約40万円)							
Τλ-	(6)将来予想される改修		防火シャッターバッテリー6個交換(R6年頃、約15万円)							
指定管	(想定年度と費用見込	み)								
管理										
	(7)指定管理者名		掛川市体協・ミス	ヾノグルー プ						
	(8)指定期間		平成26年4月1日	から 令和6年3月31日	まで					
	(9)債務負担行為設定の	有無	☑ 設定あり	□ 設定なし	※設定ありの場合、(期間	平成26年度~	平成35年度)(限度	額157,114千円)		
	(10)施設の管理運営形態 ③指定管理料+利用料金併用制度			十利用料金併用制度						
	(11)自主事業の有無		☑ 実施あり	☑ 実施あり □ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ一(3)欄に記入のこと。						
	(12)その他事業の有無			※実施ありの場合は、収支状況をⅢ一(3)欄に記入のこと。						
	(13)事業報告書提出の有無				る提出義務) 🗌 提出な	<u></u>				
(14)利用者満足度調査等実施 ☑ 実施あり □ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 3				の実施年度 平	成30年度)					

区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考		
	(1))施設利用者数	(目標値)	90,000	93,000	100,000	100,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
	(1.	/他政利用有数	(実績値)	99,654	102,019	98,431		
	内	アリーナ		41,450	51,499	36,065		
	訳	体力測定室		21,203	14,934	25,521		
	施設	トレーニングル・	ーム	30,018	29,796	28,624		
	· 設	研修室他		6,983	5,790	8,221		
	成備ご							
	ح							
2	(2)	稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
利			A平日昼間	53.0%	57.4%	51.0%		
用状況		アリーナ	B平日夜間	96.0%	93.9%	90.7%		
況		, , ,	C土日祝昼間	82.0%	83.9%	83.0%		
			D土日祝夜間	91.0%	85.3%	91.3%		※算出式:毎月平均稼働率の年間合計÷12
	施設		A平日昼間	83.0%	82.4%	74.3%		(毎月平均稼働率=利用面数÷利用可能面数)
	-	体力測定室	B平日夜間	88.0%	87.3%	86.9%		
	設備ごと	作为例定主	C土日祝昼間	27.0%	36.0%	32.8%		
	ح		D土日祝夜間	23.0%	14.6%	23.7%		
			A平日昼間	58.6%	57.9%	61.0%		
		トレーニング	B平日夜間	19.4%	19.4%	18.5%		※算出式:利用者数÷営業日数÷4.5回転÷28人
		ルーム	C土日祝昼間	47.8%	48.1%	51.0%		
			D土夜間	3.8%	3.6%	3.9%		

			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
2	施設		A平日昼間					
利		l /	B平日夜間					
利用状況	設備ご		C土日祝昼間					
況	ح		D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考
3	(1)‡	指定管理者	ž					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
管理	(2)君	利用者一人当	たりの運営経費	179	188	187		
-	(3)	運営日数		344	344	319	344	
運営状	(A)÷	軍営人員	①正規職員	3.0	3.0	3.0	3.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理ないではなる。
況	(4/1	生白八只	②臨時職員	3.0	3.0	5.0	5.0	理施設で働いている実人数を記入してください。

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報 (単位:円、%)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
①人件費	13,587,704	14,912,594	13,805,718	14,772,500	
②印刷費	308,643	161,913	165,171	144,000	
③通信費	329,399	297,752	529,380	327,000	

•					•	
	④事務用品、旅費、図書費など	68,627	65,907	125,733	41,000	
(1)運営コスト(A)	⑤借上料	235,811	601,433	643,282	618,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	1,237,040	1,279,342	1,443,280	1,660,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	2,087,044	1,909,663	1,742,579	1,713,000	
	計	17,854,268	19,228,604	18,455,143	19,275,500	
	対前年度増減率		7.7	△ 4.0	4.4	
	区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
	①管理委託費(外注費)	16,308,970	15,104,484	15,334,756	15,008,840	
	建物管理委託	16,308,970	15,104,484	15,334,756	15,008,840	
(0) 佐郎 フレ(ロ)						
(2)施設コスト(B)	②修繕費	152,712	275,240	198,440	300,000	
	③光熱水費	3,756,147	3,417,861	3,133,047	3,380,000	
	④燃料費	28,376	36,511	28,103	36,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	404,483	139,964	353,423	195,000	
	計	20,650,688	18,974,060	19,047,769	18,919,840	
	対前年度増減率		△ 8.1	0.4	△ 0.7	
(3)トータルコスト(施設管理	費 合計) (A)+(B)	38,504,956	38,202,664	37,502,912	38,195,340	
						-

(4)合計のうち運営コストの割合	46.4	50.3	49.2	50.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	5,571,305	7,333,645	5,334,280		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	31.2	38.1	28.9		

Ⅲ 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設 (単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)-b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設利用料金収入	5,571,305	7,333,645	5,334,280	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(aートータルコスト)	△ 32,933,651	△ 30,869,019	△ 32,168,632	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	15,656,000	15,557,000	15,557,000	

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 自主事業の収入	29,348,208	24,250,016	32,417,733	
b) 自主事業の支出	13,114,107	8,639,977	15,238,050	
収支差額 a) -b)	16,234,101	15,610,039	17,179,683	
c) その他事業の収入	611,000	611,000	3,008,531	
d) その他事業の支出	0	0	0	
収支差額 c)-d)	611,000	611,000	3,008,531	

Ⅳ 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている		【達成できていない点・主な課題】
2	設置目的をほぼ達成できている。	2	【いつまでに、どのように対応するか】
1	設置目的を一部達成できていない。	<u> </u>	・地域のスポーツ拠点として定着するよう、引き続きPR活動と施設の利用促進を図ること
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	98.8%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・幅広い利用者層へのサービス展開、安心安全に利用できる施設運営 【いつまでに、どのように対応するか】 ・利便性を向上させるサービスを実施すること ・利用者が安心して利用できる感染症対策等を行うこと
B サービス内容の満足度	90%以上	99.1%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・施設利用方法の多様化 【いつまでに、どのように対応するか】 ・既存プログラムの見直しや文化イベント等との協働によるイベントを 検討すること
C 従業員応対の満足度	90%以上	100.0%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・接遇 【いつまでに、どのように対応するか】 ・引き続き接遇研修を実施し、従業員の資質向上に努めること
D 施設安全対策の満足度	90%以上	99.4%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・安全対策について職員の知識の向上、感染症対策への対応 【いつまでに、どのように対応するか】 ・ヒヤリハット事例の蓄積、災害対策マニュアル等の周知や防災訓練を 実施すること。また、適切かつ柔軟な感染症対策を行うこと。
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	97.9%	3	【達成できていない点・主な課題】 ・清掃 【いつまでに、どのように対応するか】 ・清掃マニュアルを周知し、日常清掃点検を強化すること
F 施設の利用者数 ※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求	100000	98431		【達成できていない点・主な課題】 ・幅広い利用者層へのサービス展開 【いつまでに、どのように対応するか】 ・安心安全にスポーツができる機運を醸成し、既存プログラムを見直し ・するなど、施設の五月名数の日標を達成すること

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。		【達成できていない点・主な課題】 ・利用率の低い時間帯の利用率向上及び新規事業による収入の増加
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。	9	・利用率の低い時间市の利用率向上及び新規事業による収入の増加 【いつまでに、どのように対応するか】
1	前年度と同等の収支差額になっている。	၂ ၁	・引き続き人件費、水道光熱費等の支出を抑えるとともに、プログラム
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		体験会等の企画を継続し、収支バランスの取れた経営に努めること

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。		【達成できていない点・主な課題】 ・災害時における職員の対応手順の理解、感染症対策への対応 【いつまでに、どのように対応するか】 ・災害対策マニュアル等の周知や防災訓練を実施すること ・各種マニュアルを参考に、適切かつ柔軟な感染症対策を行うこと
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3 2 1 0	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討) 民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など) 現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など) 民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		【達成できていない点・主な課題】 ・中長期修繕計画 【いつまでに、どのように対応するか】 ・中長期修繕計画を毎年更新すること

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。		【達成できていない点・主な課題】 ・施設利用者数の増加、感染症対策への対応 【いつまでに、どのように対応するか】 ・休館日の営業解放や合宿の誘致等引き続き利用者のニーズを把握し、引き続き収支バランスの取れた経営に努めること ・各種マニュアルを参考に、適切かつ柔軟な感染症対策を行うこと
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計 29 /33

V その他自由意見